いずみ
発行所
福井県大野郡
和泉村公民館
印刷所　松浦印刷所

# 和泉村議会議員選挙

## 九月二十八日執行

九月二十日、和泉村議会議員選挙期日の告示とともに、午前九時石神東洋氏の第一号立候補届出に続き二十四日の立候補締切日には二十五名の立候補届出があつた。

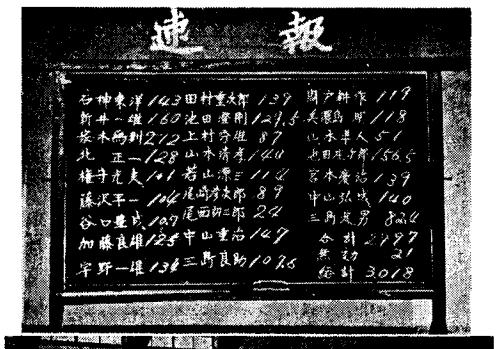
四年に一度の選挙ともあるために一週間の運動期間中の選挙戦は大変なものであつた。

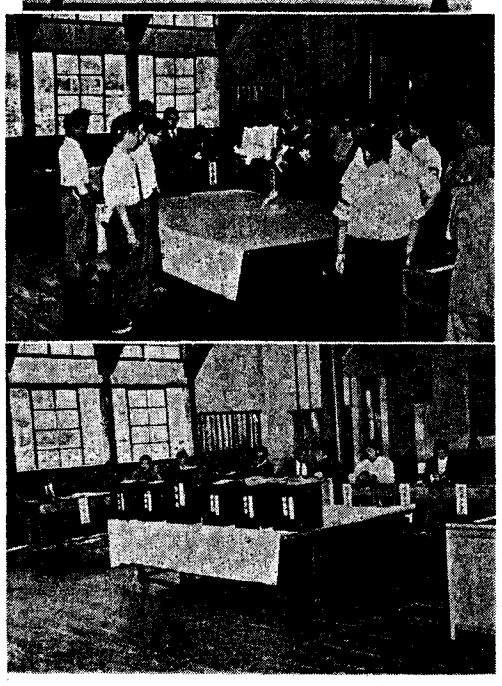
二十八日投票そして二十九日は午前九時から朝日小学校で開票されたが、今までになく参観人が多く緊張の内に当落がきまつた。選挙結果は次のとおりである

○当日有権者数　三二六九人
○当日投票者数　三〇一八人
○投票総数　三〇一八票
○有効投票総数　二九九七票
○無効投票総数　二一票
○投票率　九二・三二％
○候補者別得票数

家木　為則　二一二票
新井　一雄　一六〇票
池田庄次郎　一五六・五票
中山　重治　一四七票
石神　東洋　一四三票
山本　清孝　一四〇票
中山　弘成　一四〇票
田村重次郎　一三九票
宮本　慶治　一三九票
宇野　一雄　一三四票
池田　澄剛　一二九・五票
北　正一　一二八票
加藤　良雄　一二五票
周戸　耕作　一一九票
美濃島　明　一一八票
若山　源三　一一四票
谷口　豊成　一〇七・六票
藤沢　平一　一〇七票
権守　光夫　一〇四票
尾崎彦次郎　一〇一票
上村　秀雄　八九票
三島　定男　八七票
山本　準人　八二・四票
尾西初三郎　五一票
三島　良助　二四票

（写真は上から選挙結果速報、中は開票風景、下は投票所風景）



## 議長に谷口豊成氏

### 和泉村議会第24回臨時会開催

九月二十九日当選確定となつた新議員二十二名による初村会が、十月五日午前九時より和泉村役場に於て開催され次のとおり新議長副議長、各常任委員会委員が決定した。

議長　谷口　豊成　六四才
副議長　宮本　慶治　四八才
総務常任委員会委員
石神　東洋　四〇才
北　正一　四三才
池田庄次郎　六五才
加藤　良雄　四〇才
尾崎彦次郎　四一才
文教厚生常任委員会委員
山本　清孝　四九才
藤沢　平一　三三才
若山　源三　五七才
中山　弘成　四六才
中山　重治　四七才
産業経済常任委員会委員
周戸　耕作　五七才
新井　一雄　三八才
池田　澄剛　四三才
田村重次郎　四三才
美濃島　明　三四才
土木常任委員会委員
家木　為則　四四才
宮本　慶治　四八才
宇野　一雄　四三才
上村　秀雄　三九才
権守　光夫　四一才
三島　良助　五二才

## 10月強調目標

天高く馬こゆる秋、食欲の秋です。

食欲に甘じて食中毒にかからないよう注意しましょう。

## 知事に手紙を出す月間

十月一日から三十一日まで知事に手紙を出す月間となつています

県では、県民の皆さんから県政に対するご要望やご意見、苦情等を広く聞き県民と県政をより親密にし、また理解願うために設けたのですから、皆さんもどしどし手紙を出しましょう。

◇内容

①県政について、お気付きの良いこと、悪いこと。

②知事に対するご意見、ご要望、または相談、苦情等。

③そのほか県政について大きいこと、小さいこと、どんな事でも結構です。

◇あて先

福井市御本丸一番地
福井県知事　北　栄造

## 村民の声

### 青年団とは

日頃酷評をいただいている青年団について、今一度親も子も真剣に考えこぞつて打ち溶けられながら前進できるために、その目的などを参考としてまとめてみた。

一、目的

青年団は地域を基盤として網羅した大組織である。その土地に住んでいる青年ならだれでも入れるし、いつでも入れる。やめるのも自由である。そして団員の自由な意志によつて目的も定められるし運営もされていくのである。

年令、職業、学歴、教養、趣味などの違いがあり、構成上まことに複雑な組織である。それぞれ違つた考え方を持つてはいるが、一口にいつて、ひとりひとりの青年の生活をたかめ、幸せをきずくことと、明るい郷土をつくることが青年団の目的である。

二、方向

幹部のみの青年団。これが現状の青年団の縮図である。ひとりひとりの青年団のための青年団という意味がまだじゅぶん理解されておらず、幸せをきずき、願いをみたすために青年は集るもの、そこに集団はできる。という原則にたず、青年団というういれ物があるから、そこへ入つただけだ、といつた考え方の団員がまだまだ多いことは反省の要がある。

ともあれ、青年たちひとりひとりがそれぞれ思つていること、やつてみたいことなどを、組織を通じて、民主的な方法でおこなつてみようと集つているのでなくては意味がない。これが青年団の方向である。

一人で百歩前進するよりも百人が一歩前進すること。――これが青年団運動にとつてもつとも大切な姿勢である。

三、共通目標

日本青年団協議会ではつぎの五つのスローガンをかかげている。

一、青年の生活をよくしよう。
一、女性の地位を高めよう。
一、働く青年のための教育をそだてよう。
一、平和と民主主義をまもろう。
一、組織を確めよう。

このスローガンにつらぬかれている精神は、平和を守り、真の民主主義をきずきあげるという精神である。これは全青年団員の願いであるとともに日本のすべての青年の願いでもある。

## 第二室戸台風のあと

### あれくるう

去る、九月十六日和泉村一帯を襲つた第二室戸台風は、暴風雨と共にあれくるい、国道、県道、村道及び林道そして農耕地に多くの被害を与えて行つた。

三年連続の台風による災害のために復旧作業のツチの音も何か重くるしい感がする。台風、台風で毎年過ぎる事にならないように村民の皆さんの御協力をお願いする被害状況は次のとおりであります

⊙住家
全壊　三戸　一七人
流失　一戸　七人
半壊　三六戸　二一四人
床上浸水　二三戸　一二一人
床下浸水　一五戸　八一人

⊙非住家
全壊　一二戸
流失　一七戸
半壊　一戸

⊙林産物
木炭　一、一二〇俵
針葉樹　二、五〇〇石
広葉樹　六、八〇〇石

⊙炭窯
全壊　一六基
半壊　一六基

⊙農地
田冠水　一三カ所　一九町
田流失　一四カ所　一二町
田埋没　一一カ所　九町
畑冠水　五カ所　三町
畑流失　四カ所　二町
畑埋没　一カ所　一町

⊙農業施設
用水路　二五カ所
農道　一、一カ所　三、一四〇米
橋　六カ所　五四六米
⊙林道　二九カ所　七九八米
⊙村道　二〇カ所　二九四米
道路　一三カ所
橋梁　二五カ所
⊙河川護岸　二、三〇四米
二七カ所　六九〇米
二六カ所　一、三五五米
⊙県道
⊙国道

（写真は豪雨の中でどのう積み作業に当る人々）

## 災害見舞金

九月十六日の第二室戸台風による災害に対しまして、次の方々から見舞金をいただきありがとうございました。

福井県議会義長
福井銀行
九頭龍川電源開発共同本部
福井県共同募金会

## 農業共済事業の実施認可さる

今まで上、下穴馬農業組合が二個の法人団体として、夫々の地区に於ける農業補償法に基く共済事業を行つて来ましたが、元来共済組合の設立は一市町村一組合というのが法の定める原則でありまして、両穴馬村が解村して和泉村が誕生した直後に於て、当然両組合は発展的解消をなし和泉村共済組合として発足すべきであつたのであります。然し村内に於ける新規事業の着手や大幅な機構改革等、一時ストップさせた電源開発問題等もあつて其の時を経過していたのでありますが、その間県当局から合併について何回か要望も受けて参つたのであります

斯くして時が経過する内に単独組合でなくとも市町村営で農業補償法に基く共済事業が行い得るように法律が一部改正されましたのでそれを機会に両組合長から正式に村当局及び村議会に対し引受方を申し入れたのであります。以来村当局は県当局及び県連合会は勿論他村の実例を調査研究を行い、村議会に於ても総務常任委員会に付托して慎重なる審議を重ねた結果、本年三月三十日受入決議と共に和泉村農業共済条令が決議された訳であります。

両組合の村に移譲する決議は上地区が六月十八日、下地区が六月二十日になされ、夫々関係書類を添付して七月三十一日付で県に対し認可申請をなし八月二十二日知事より認可され、戦後農業災害補償法の制定と共に設立し農協と同じく農家の皆様に親しく接して参りました共済組合は名実共に解消し、和泉村役場機構の中に於ける一産業部門として新発足を致した次第であります。

共済事業の担当者は下の組合に勤務致して居りました島田氏であり、今後は大きな機構の中に於てきつと農家の皆様に満足いたゞける様な共済事業が推進されるものと期待致して居ります。

現行法では根本的に改正されなければ真に農家の為になる共済事業は遂行出来ないことについては充分御承知の筈であり、従来もあらゆる会合に於て話題の中心でありましたが、これは全国的な問題であり又全国的な傾向でもありますので近く大幅改正が行われ、農業基本法の施行と相俟つて合理的な農業経営に変ぼうするものと信じます。以下法の大要を抜すいしてお知らせ致します。

条例

（目的）

この条例は農業災害補償法（昭和二十二年法律第一八五号）に基き、この村が行う共済事業の実施に関し必要な事項を定めることを目的とする。

補償法

（目的）

第一条　農業災害補償は農業者が不慮の事故に因つて受けることのある損失を補塡して、農業経営の安定を図り農業生産力の発展に資するを目的とする。

（構成）

第二条　農業災害補償法は、農業共済組合又は市町村の行う共済事業、事業共済組合連合会の行う保険事業及び政府の行う再保険事業とする。

（事業実施主体変更の申出）

第八五条の二　農業共済組合はその行う共済事業の規模が主務大臣の定める基準に達しない場合、その他政令で定める特別の事由がある場合には、あらかじめその区域の管轄する市町村と協議し、総会の議決を経て当該市町村に対し、当該市町村が本章の規定により共済事業を行うことが出来る。

（市町村の共済事業の実施）

第八十五条の三　市町村は前条の申出があつた場合において、その申出に基き共済事業を行うことを必要且つ適当と認めるときは都道府県知事の認可を受け、当該申出に係る農業共済組合の区域に相当する区域において本章の規定により共済事業を行うことが出来る。

× × ×

# 農業講座

## この頃の秋野菜の薬剤散布

この夏は高温で乾燥気味の天候だつたので秋野菜の播種や植付には苦労された事と思います。これから段々涼しくなるにつれ、日増しに成長は盛んになつて、初冬に入るとともに収穫期になるのですが、これからの病害虫の被害は品質、収量に著しい影響をあたえますので、これからの薬剤散布についてお話しいたしましよう。

▲ヨトウムシ

この害虫は春と秋との年二回発生し、九月中下旬から十月中旬頃に親虫が発生して葉の裏に数十粒から百数十粒の卵を一卵塊にして産み付けます。卵は七日くらいでかえります。かえつた当時は群がつていますが、後で分散して葉の表皮を残して葉肉を食いつくしますので、葉には白い斑点のすかしができます。被害が甚しくなると主脈だけを残して丸坊主にしてしまいます。この害虫の防除適期は葉の白い斑点のすかしができはじめた頃で、この時期をのがすと防除は一寸困難になります。この時期にD、D、T乳剤四百倍液エンドリン乳剤四百倍液などの薬剤を一～二回散布します。

▲腐敗病

次に病害でありますが、今年は気温が高いので腐病（軟腐病）の発生が気にかかります。殊に台風の後などは注意が必要でしよう。成長が良いので安心していると、全体が萎れて、しまいには枯れて来ます。このような株を引抜いてしかしこの病害は気温がやや高めの時に発生が多いので、銅水銀剤六百倍液（水一〇リットル、薬剤一六～一七グラム）ダイセン六百倍液などを外葉が地面に接する部分や株元に散布します。

▲ベト病

秋冷とともに発生が多くなる病気で、葉に黄緑色の不明瞭な病斑を生じます。葉裏を返してみますと、灰白色の粉状のカビを生じています。甚しい時は下葉から枯れて白菜などは結球が悪くなります根の部分をみますと軟かく腐敗しています。この時はすでにおそく薬剤の効果はありません。この病害は、播種当時のキスジノミムシの総合防除が必要で、すでにこれは実行されていることと思います

ダイセン、マンネブダイセンM、銅水銀剤六百倍などを散布いたします。また葉に白い斑点が出来る白斑病、黒い斑点が出来る黒斑病もベト病の防除に準じて防除いたします。

▲線虫

これは秋野菜には間にあいませんが、米作のために、気温の低くならない内に、畑のあいているうちに、殺虫しておくとよいと思います。今まで葉野菜の根にコブが出来て生育が悪かつたり、イモなどが大きくならず形の悪いものが出来た事はありませんか、このような畑には線虫がおる事と思います。

駆除はDD、EDB、DBCPカーバム剤など殆んどが土壌燻蒸剤であります。これらは注入器で注入したり穴をあけて注入したりその薬剤に応じた方法で投用します。この和泉地区でも発生が見られますので、もしやと思われる場合は土を乾かさないで普及所まで持つて来て下さい。顕微鏡で調べます。また薬剤は殆んど生育中は使用できないから畑のあいている内に駆除して下さい。ただし地下一五センチ約五寸の所で一〇度以下の時は効果が落ちます。

以上主なものだけ簡単に記しましたが、まだたくさんの病害虫がありますのでわからない時は普及所、農協などへ現物を持つて聞きに来て下さい。

## 入植予定地視察報告

（坂井郡の開拓予定地の視察から）

水没者の人達が、子孫に至るまでの生活の拠居となる土地を求めて安定した職業に就き恵まれた生活を築いて行くためには、移住地の選定が第一条件であることは申し上げるまでもない事です。

昨日、坂井郡北部丘陵地帯の梶（かじ）団地、総面積八〇町、入殖予定二〇戸と、浜地団地総面積約一八〇町、入殖予定三〇戸を視察させていただき、農業関係について農事試験場などの調査結果や、現地で聞いた事、見た事をもとにして申し上げます。

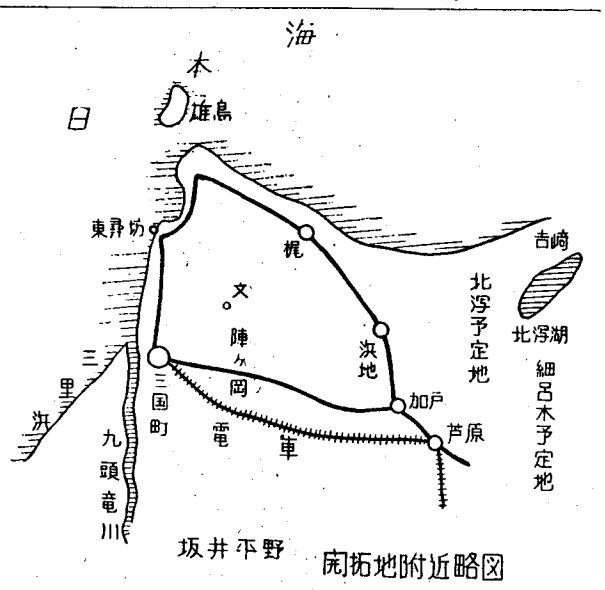
土地は傾斜約三〇度にて、北は日本海、南は坂井平野を控え小高い丘になつています。土質は附近一帯、東尋坊の岩に類した輝石安山岩の風化してできた殖壌土で一面の赤褐色の粘質の土が厚く地表を覆つております。

堆肥など多く施した耕土は、腐殖が増加してよいのですが、開拓予定地では極度に腐殖に欠乏していて、酸性が強く、燐酸を吸収する力が強すぎるために、燐酸として効く成分に不足しており、苦土に欠乏しているとの事でありますが、これらの欠点は現在では数年を待たずして解決できます。

福井県の土を一級から五級までに分類すると、開拓予定地の土は二級から三級の土になるとの事でこれは現状のまま麦や菜種などを栽培した場合の等級であつて、今後区画整理、土地改良を行うと、果樹園としては一等地になると、専門の技術者が自信を持つて言つております。

調査、測量、実施は県庁の開拓課が主になつて仕事を進めて行くようですが、このほか県の関係者が、開拓地の農業近代化をめざして励んでいる事が説明者の話しにより強く見受けられたのであります。あの原野の現状を、入植者で開拓する事は容易な事でないでしよう。然し、一戸当りの区画二町四反余として、宅地は完全な宅地は殆んど兼業農家ですが、入殖するとなれば完全な専業農家となるので、他へ儲けに出るような事はかえつて農業の発展をさまたげる事になります。

日本の農業は古いしきたりによつて水田稲作が極度に発展したとして造成し、水田は灌漑施設も整つた完全な水田となり、果樹園普通畑ともに区画の整つた畑に開墾された時の事を考えて、適当か不適当かを判断する事が必要と思います。



開拓地附近略図

和泉村では、現在開拓の行なわれていない地帯は、果樹、畜産、園芸農業を主にして考えて来た所以とも言つております。開拓の当初は困難をともなう事も当然と覚悟しなければならないと思います。入植予定地の農業は梨を主にした果樹農業、乳牛を主とした畜産農業が計画され、米は大体自家飯米程度となつています。水田農業に比較して、特に新しい良い考えを要求される農業になる事と思いますが、この問題については専門に近い優秀な技術者の指導援助が受けられるわけであります。

入植を希望される方は、自分の家の職業は、坂井郡丘陵地帯で、近代化された農業を始める以外に何処へ行くよりどんな仕事をするより、これより他の途はないと、強い意志を持つて入植されなければならないと思います。

## 郷土のゆらい

### 朝日心中

（穴馬踊りくどき節より）

ワーツと人波、盆踊りの輪がくずれたと思うと、喧嘩だ、あばれ浪人だという声、群衆に取り巻かれた中に美貌の娘を後にかばつて、乳母らしき女の青ざめた顔を前に落人涙人らしき野武士風の怒声である。戦国争乱の嵐は美濃越前の間道である為、この静かな山里穴馬の郷にもその余波をもらさず。

去る年、戦に破れた源家嫡子義衡をこの地に隠生せしめた隠忍三カ年、源家再起を夢見た義衡も期至らず父義朝打たれるを聞くや京に上り、平治の乱に遂に六条河原の露と果てた。この地隠生中、側妾として仕えた朝日部落八幡神社禰宜の朝日助左ヱ門娘、懐妊に及び、去るに当り男子出生ならばこの太刀を守り刀として源家再起を計れ、女子ならば名乗るに及ばずと笛一管を残せりと聴く。

かくて月満ちて女子出生、父知らずに生長したおたつは氏の良さを争えず、育つにつれて天性の美貌は二八の春を迎えると共に益々冴え、村の若衆の目を見張らせていた。女子出生と共に父義衡の残しおかれた守り刀と笛を、村の氏神八幡宮に献上、今日は恒例の祭囃子に心浮かれて、母と共に穴馬踊りを見に来た往来の出来事である。如何程かのわらじ銭目的の悪巧みである。群衆も後のたたりを恐れて口を聴く者もない、

その内後方よりツト前に出た百姓風の二十四、五才の若者、「御武家さんいずれの事態か存じませんが、疎怠お腹立もございましようが今日はお祭りの目出度祭日、何とぞお許し下さいますよう」

百姓とも見えぬ見事な口聴でツト武家のそばにより右で取る手首のかたで、そつと落し込む袂との包み紙、武士はつと顔色を変えたが旗色利あらずと見て「許し難きところなれど貴様の扱で免じて許そう」と早々人ごみにまぎれ込む。

後みをくつておたつはホツとも恐しい顔色で若者の顔を流し目に見てため息。これが思わぬ縁にしの糸となり、悲恋の果に若い命を散らすことになるとは神ならぬ身の知る由もない二人である。

（以後次号に続く）

## 和泉村下地区の慰霊祭執行

台風による災害に見まわれ昨年

は出来なかつた慰霊祭は、十七回忌に当る本年十月六日午前九時より朝日小学校講堂で七十六柱の戦没者に対し厳かに執行された。

村長を初め各来賓の方々祭文に続き読経、遺族の焼香そして遺族代表者の謝辞で午前十一時三十分終つた。

## 納税貯蓄体験記の懸賞募集について

納税貯蓄組合法施行十周年記念行事の一環として組合の普及に資するため、納税貯蓄体験記の懸賞募集を次の要領で実施することになりましたので多数御応募下さい

一、内　容

納税貯蓄組合又は納税貯蓄に関する体験記とし二千字以内

二、締切期日

昭和三十六年十一月三十日

三、あて先

東京都千代田区（東京中央局区内）霞ケ関三の三

国税庁徴収部管理課納税貯蓄組合係

四、賞　金

次のとおりとし入選発表後すみやかに送金します。

一等　一編　一万円
二等　二編　五千円
三等　三編　三千円
佳作　五編　一千円

五、その他

選考＝国税庁

応募原稿の第一面に住所、氏名職業を明記のこと。

応募原稿は返しません。

入選作品の著作権は国に帰属します。

## 東部中学校 校内運動会終る

秋も深まつた十月十一日、晴天に恵まれた東部中学校校庭は年に一度の定例行事である校内運動会でにぎわつた。

全校生徒一七二名が父兄と共に走る、とぶ、なげると元気いつぱいほがらかに普段の勉強の成果をはつきし、なごやかな内に終つた

（写真は元気一ぱいの校内運動会）

## 人のうごき

【出　生】

川合　末永　博　剣長男
野尻　宮沢由美子　由夫次女
鷲　大町　治則　治雄長男
箱ケ瀬　大久保栄美子　豊和三女
箱ケ瀬　高橋　秀樹　利見長男
荷暮　三島喜久子　龍馬長女
中竜　柳原　浩嘉　文吉次男
中竜　庄野　俟夫　米作長男
中竜　工藤江利子　久雄長女
中竜　上原　昌爾　武雄長男

【婚　姻】

○朝日　谷口　弘美
岐阜県大野郡荘川村湯口　重徳
○朝日　尾花　継男
荷暮　永瀬とみ江
○大谷　若山十兵衛
石徹白　石徹白かをる
○福井県小浜市小浜　斎藤　信夫
伊勢　奥野　くみ

【死　亡】

荷暮　三島　丑待　四八才
三面　山田　実　一九才
上平原　洞口　光男　三三才
中竜　岡田　光則　二才

## かじか

### 羽根の運動について

澄みきつた秋の空につかしいおみこしやお祭りの声、ちようど此頃は毎年定期的に本土に襲来する台風に、此処数年全くほつとする間もなく災害の続出で全く嫌になる世は宇宙時代でありながら科学万能時代に台風を一挙に消滅させる事が出来ないものだろうか？　と思う。多い年で約二十個の台風が発生し本土に襲来すると言う、中部山岳地帯に豪雨とは、間違いなく当地方に災害を及ぼす事は必至で、九頭龍川のながれには今や電源開発のダムに依つて洪水調節をしてくれる事がもう吾々素人の唯一の希望となつたようである。

◇　秋は色々の運動の多い季節である。赤い羽根の共同募金、黄色い羽根の交通安全等。ところで毎年本土を襲来する台風には全国で何千億もの被害を蒙る。かつてのジェン台風の時と今度の第二室戸台風の状態と比べて第二室戸台風の方が規模が大きかつたにもかかわらず、大阪方面では貴い人命の被害は少なかつたようであるのはいわゆる科学の発達で台風のキャツチや、情報の速報等の進歩であつた。此の辺で一ツ水色の羽根の運動など考えて台風のための被害を少くするため、気象科学などの発展に募金して貰つたらどうかとは？……

◇　現在の当地方の道路は多分福井県で最も悪路であろう。いや日本でも此のような国道は先ず少いと思う、ところが先般某土建会社いわく、今日は県知事など来村の予定で道路の路面を充分に手入れして置くようにと県から通達があり、尚乗用車の腹が路面につかえないようにして置くため小さい穴は土砂を入れてほしいとのこと。知事さんは乗用車で尚路面を速成ながらも整理した道を大して悪路の震動も覚えず、此の道なら「まずまず」と感ずるだろう。ところが日常当地を走る車の運転手たちは、悪路のため故障は多く燃料多大、時間の損失など考え年間の被害甚大とのこと。此の辺で一ツ茶色い羽根の運動をし計画して募金して貰いたくなるのは同情できよう。